ホンジュラス政治・経済定期報告（２０１６年７月）

２０１６年７月のホンジュラス政治・経済定期報告を，別添のとおり報告する。

１　内政

1. ７月５日，国会再開。
2. ６日，ラ・パス県マルカラ市にて，レスビア・ジャネス・ウルキア・ウルキア「ホ」ポピュリズム・先住民族組織市民協議会（Ｃｏｐｉｎｈ）メンバーが打撲により頭部が割れた遺体で発見された。１３日，警察は，ウルキア氏殺害容疑で，マヌエル・オルランド・ロペス・オルティス氏（知能犯），ホセ・アダン・リベラ・ペレス氏（実行犯）及び同氏の弟（実行犯）の３名を逮捕。ロペス氏は，殺害されたウルキア氏の義兄であり，埋葬に列席し，棺まで担いでいた。リカルド・カストロ検察庁殺人事件特別局局長は，本殺害の動機が相続問題であったことを明らかにした。
3. ７日，国会は，移民恩赦にかかる政令を可決。同政令は，在ホンジュラス外国人が，移民・外国人法第１０１条に規定されている違反を犯したことにより２０１５年４月３１日までに積み上がった罰金・課徴金を恩赦する。恩赦を受けるには，移民局に対し必要書類を提出しなければならない。恩赦を受けない外国人は，強制送還或いは移民・外国人法に基づく刑罰に処される。同恩赦法は，官報掲載より１２０日間有効。メンヒバル移民局長官は，同政令を通じて移民・治安政策の強化やデータベースの更新を計る考えを示した。
4. １３日，レンピーラ県グラシアス市にて召集中の移動国会（Congreso Movil）は，刑事に関する司法組織特別法を，オリバ国会議長の要請により１度の審議で可決。同法の可決により，従来，一般裁判官によって判断されていた恐喝罪を専門に取り扱う特別裁判官が新たに任命。２６日，最高裁は，ロメロ刑事小法廷判事を長とする対恐喝専任判事選出委員会の委員を任命。ロメロ委員長は，６月，最高裁の任命によって発足した対汚職専任判事選出委員会の委員長も兼任。
5. １５日，エルナンデス大統領は，１ヶ月程前に，コラーレス前外相を，中米北部三ヵ国の発展に資する「繁栄のための同盟計画（ＰＡＰ）」やホンジュラス対汚職・無処罰支援ミッション（ＭＡＣＣＩＨ）等，当国と米関係にとって重要なテーマを担当する対米特使に任命していたことを認めた。コラーレス対米特使は，拠点をテグシガルパに置き，情報収集や米両院議員及び米シンクタンクとの対話等必要に応じて渡米する予定。
6. １７日，与党国民党は，大統領再選に関する規則の制定を目的に開始した署名運動の区切りとしてデモ行進を実施。また，２４日，全国から集合した１５万人以上の国民党支持者と共に，大規模デモ行進をテグシガルパにて実施し，前述の署名運動において，１７３万４９０２名の署名が集まった旨発表。同行進には，オリバ国会議長，ロペス国民党党首，アルバレス大統領代行，アスフラ・テグシガルパ市長等，国民党幹部も参加。
7. １９日，当国国会が５日に任命した，国民登録局（ＲＮＰ）による出生証明書の発給における不正行為の調査を目的とする，複数政党からなる特別委員会は，ＲＮＰ当局と会合した。
8. ２２日，リブレ党は，国会に対し，「大統領再選に賛成か反対か」を問う国民投票を，２０１７年３月実施の予備選挙の際に第４の投票として実施することを発議。また，２６日，自由党は，国会に対し，「国会が大統領再選を認めるための規則を制定することに賛成するか反対か」を問う国民投票を，総選挙の６ヶ月前或いは総選挙同日に実施することを発議。右提案を受け，ロペス国民党党首は，大統領再選を規則として制定するための法案を国会に提出する考えであり，同提出時期を検討中である旨発言。アルバレス大統領代行は，現行法上では無制限に大統領再選が可能となってしまうため，右状況を避けるために大統領再選を１回限り可能とする旨の規則を早急に制定する必要がある旨，野党に対して呼びかけた。更に，２９日，バネガスＰＡＣ国会幹事は，国会に対し，総選挙に先行する形で，大統領再選に賛成か否かを問う国民投票の実施を発議。
9. ２７日，セラヤ・リブレ党党首は，野党に対し，次期大統領選における野党統一候補の擁立を提案した旨，記者会見にて発表。３０日付当地主要各紙は，セラヤ党首の提案が，自由党やＰＡＣ等の他野党勢力からあまり熱狂的に受け入れられなかった現状を報じた。

２　外交

1. ６～９日の日程で，当国コパン・ルイナス市にて，本年末にブエノス・アイレスで実施予定の第４回マルカ・パイス（国家ブランド）国際フォーラムに向けた準備会合が開催され，中南米１５ヵ国から代表者が参列。ホンジュラス政府は同会合にて，中南米全域での地域プロモーションを実施する技術審議会の創設を提案。同提案を元に，準備会合宣言において，チリ，コロンビア，エルサルバドル，ホンジュラス，ウルグアイの５ヵ国が国家ブランド国際審議会の創設に向け作業を進めることが合意された。
2. １１日，エルナンデス大統領は，ドミニカ共和国を公式訪問。
3. １１日，米民主党のハリー・リード上院院内総務は，ＰＡＰを対象とした１，０４０百万米ドルの支援を可能とするための法案を，米連邦議会に提案。
4. １２～１３日，エルナンデス大統領は米を訪問し，昨年１２月に連邦評議会で可決されたホンジュラス，グアテマラ，エルサルバドルが推進するＰＡＰに対する７．５億米ドル支援金の再確認を目的とし，米国会議員等との会合を実施。
5. １５日，外務・国際協力省は，１４日に仏ニースにてフランス革命記念日祝賀祭中に多数の死傷者が発生した事件に対して弔意を表明する旨のコミュニケを発出。
6. ２０日，外務・国際協力省は，１８日に独南部ビュルツブルクの列車内で５名の負傷者を出した事件を遺憾とし，連帯の意及び国際テロと戦うという決意を表明する旨のコミュニケを発出。
7. ２５日，外務・国際協力省は，同日に日本の相模原市にて１９名の死者及び２６名の負傷者を出した事件に関し弔意を表明する旨のコミュニケを発出。
8. ２５日，ＭＡＣＣＩＨはＯＡＳに対し，活動３ヶ月の成果報告書を提出。同報告所には，選挙運動に不正金が流入するのを防ぐ目的で制定される政党資金調達に関する規則や選挙におけるコイントスの使用廃止等の改訂等が言及されている。また，国会承認を得た対汚職専任判事職の設立，ＭＡＣＣＩＨの調査対象となる案件選定にかかる検察庁との調整も実績として記載。作業スケジュールによると，８月初頭にはＭＡＣＣＩＨの調査が開始予定。

３　経済

1. ７日，グティエレス革新統一党（ＰＩＮＵ）議員が，売上税１５％の非課税対象となる基礎的食糧品目（米やフリホーレス等の７２項目）を定めた政令２７８―２０１３の改正案を国会へ提出。当改正によって，肉・魚・乳製品・衛生用品等の９０項目が基礎的食糧品に追加される。
2. １５日付ラ・プレンサ紙は，エア・ヨーロッパがホンジュラス（サンペドロスーラ及びロアタン）と，スペイン（マドリッド）間の運航を開始すると報じる。ホンジュラス観光会議所（ＣＡＮＡＴＵＲＵＨ）所長は，試用運航が２０１７年３月から６ヶ月間，週1便，２９４人乗りのエアバスＡ３３０型機にて行われる予定であり，現在運航しているイベリア航空エルサルバドル－マドリッド便利用者の約４５％がホンジュラス人であることから，各便少なくとも１６０名の利用者が見込まれる旨述べた。
3. １８日，国家電力公社（ＥＮＥＥ）配電事業の施工監理を実施するコンサルタントとして，カナダ国籍の企業であり，過去にホンジュラスで「地域相互連結プロジェクト」（１９９８―２００５）や，エル・カホン送電線補修工事の実施経験がある，マニトバ・ハイドロ・インターナショナル（ＭＨＩ）が落札したと報じている。８月１８日から７年半に渡る委託配電事業が，昨年１２月に落札したコロンビアとホンジュラスの合弁企業（客年往電第１１２５号）により実施される。
4. １９日，スタンダード＆プアーズ社は，ホンジュラス国債の格付けを，「Ｂ＋安定的」から「Ｂ＋ポジティブ」に格上げ。
5. ２０日，新税制法案がエルナンデス大統領によって国会へ提出された。同法案は２１４項目から成り，２０１７年１月から施行予定。現在納税義務が課されていない零細企業に対する納税義務の発生，納税者の権利保障，納税者と徴税者間の伝達手段の効率化，滞納企業への対応等について規定されている。
6. ２６日付ラ・トリブナ紙は，シルバ・ペルー通商観光相が，ペルー・ホンジュラス自由貿易協定（ＦＴＡ）に関し，ペルー政府が２０１５年１２月に両国大統領によって署名されたＦＴＡを２５日に批准，ホンジュラス政府とＦＴＡ発効日の調整を行うと発言した旨報じる。カスティージョ経済開発大臣は，ペルー政府のＦＴＡ批准を受け，ペルー市場においてカカオ，スペシャリティコーヒー，及び，魚介類の需要は高く，ＦＴＡ発効から２年以内に対ペルー輸出額は２倍以上に増加する見通しを示した。
7. ２６日，電気事業一般法の改正案が，国会２審にて可決された。第３審は８月上旬に行われる。当改正により，再生可能エネルギー発電業者が，契約期間終了後も，入札することなく契約を再更新することができる。他方，２８日付プレンサ紙の報道によると，エルナンデス大統領は当改正に反対であり，国会３審で可決された場合は，大統領拒否権を行使する可能性を示唆。
8. ホンジュラス・コーヒー協会（ＩＨＣＡＦＥ）は，コーヒー収穫期２０１５／２０１６の第３四半期の輸出額は７．２３億米ドルと，収穫期２０１４／２０１５の同時期における輸出額９．３５億米ドルより２．１２億米ドル減少したと発表。輸出額の減少は，輸出量の減少とコーヒーの国際価格の下落が原因。
9. ＥＣＬＡＣは，ホンジュラスの２０１６年経済成長推定率を３．４％と発表。
10. 中銀は，２０１６年上半期の国外からの投資額が３２１．５百万米ドル，金融セクターが最多で３４．２％の１１０百万米ドルと発表。２０１４年までは通信セクターが最多であったが，２０１５年以降は金融セクターが上回っている。
11. 中銀は，２０１６年上半期の輸入額の減少を発表。内，原料・中間製品は昨年同期比２６１．８百万ドル減の８４４．４百万ドル。工業材料は昨年同期比２４１．８百万ドル減の１，００５．７百万ドル。資本財は１１２．７百万ドル減の３９３．８百万ドル。主な理由は，２０１５年過剰購入したため発生した余剰分の持ち越しによる同材料の購入量減少と，国際市場における原油価格の下落。
12. 財務省は，２０１６年上半期の対外債務が，前年同期より５．０３百万米ドル増加の５，７３７．６７百万米ドルと発表。対GDP比は２９％であり，ラテンアメリカの平均値３４．７％より低く，中米ではグアテマラ，パナマに次いで３番目に低い。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ◇主要経済指標◇ | **2016年** | | | | **2015年** | **2014年** |
| **7月** | **6月** | **5月** | **4月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 2.40% | 2.45% | 2.36% | 2.44% | 2.36% | 5.80% |
| **貿易収支（百万ドル）**※ | ― | 未発表 | ― | ― | △3,056.3 | △2,997.5 |
| **輸出（百万ドル）**※ | ― | 未発表 | ― | ― | 8,040.7 | 8,072.2 |
| **輸入（百万ドル）**※ | ― | 未発表 | ― | ― | 11,097.0 | 11,069.7 |
| **外貨準備高 （百万ドル）** | 3,842.9 | 3,955.6 | 3,892.6 | 3,899.6 | 3,822.3 | 3,516.5 |
| **外国からの送金 （百万ドル）**※ | ― | 未発表 | ― | ― | 3,649.8 | 3,353.2 |
| **為替レート （対ドル月平均）** | 23.00 | 22.90 | 22.77 | 22.75 | 22.10 | 21.13 |

＜出典：ホンジュラス中央銀行＞ ※貿易収支，輸出，輸入，外国からの送金は，四半期毎に発表